



食包協会報第 176号 (2022年10月号) ご案内

平素は「食包協会報」をご愛読いただきまして誠にありがとうございます。この度 176号 (2022年10月号) を公開いたしました。今号では4編の記事を掲載しております。

1つ目の記事では、一般社団法人日本合成樹脂技術協会・理事の葛良忠彦氏に「プラスチック包装・容器の使用樹脂の特徴と成形技術」と題して前号(175号)と今号に分けてご執筆いただきました。今号(後半)ではプラスチック包装・容器の構成と製造方法の解説です。図や表・実用例などを交えて非常に分かり易く有用な記事になっております。また、前号同様に用語解説にあり、私自身も読みながら勉強になったと思える内容です。

2つ目の記事では、東洋紡株式会社の石丸慎太郎氏に「レーザー印字フィルム「レザイアTM」の開発」と題してご執筆いただきました。レザイアはフィルム自体に印字性能を持たせており、印字リボンやインキなどの消耗品が不要であり、また印字品質が対象物の表面状態に左右されにくいという特徴があるそうです。今回、印字の原理や特徴及び物性などを紹介いただきます。

3つ目の記事では、公益財団法人 日本植物調整剤研究協会・常務理事/研究所長の濱村謙史朗氏に「公益財団法人 日本植物調整剤研究協会のご紹介」と題してご執筆いただきました。除草剤や植物調整剤の開発利用研究・普及など行っている協会の組織・検査/検定等各事業について紹介いただきました。

4つ目の記事では、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の北澤裕明氏に「学術論文の査読について」と題して執筆いただきました。私自身仕事上学術論文に触れる機会も少ない為、この記事を通じて査読制度の概要や筆者が査読を通じて感じていることなど知る良い機会になりました。

弊協会 Web コミュニケーション委員会では、公平・中立の原則のもと、どのような企画をすれば皆様に関心を持っていただけるかといったことを常に問いながら、これからも魅力ある記事の発信に努めていきたいと考えております。引き続きよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご多用のところ執筆を快くお引き受けて下さいました葛良様、石原様、濱村様、北澤様に心から厚く御礼申し上げます。

2022年10月18日
広報委員 笹生勝也